

一般質問通告書

令和7年第4回議会定例会（令和7年12月）

質問者（8名）

- ① 田尻博樹
 - ② 西文男
 - ③ 高風勝一郎
 - ④ 窪田仁
 - ⑤ 根釜昭一郎
 - ⑥ 福川勝久
 - ⑦ 長山美香
 - ⑧ 福井源乃介
-



知名町議会

通告順	議席 1 番	田尻 博樹	令和7年12月 日
1			時 分 ~ 時 分
1. 子育て支援について			
<p>① 国営かんがい排水事業沖永良部地区（地下ダム）が終わり、年度内で閉鎖する農業農村整備事業管理事務所（役場前）に、子育て支援拠点「そら・SORA」を移転し「屋内遊び場」もあわせて整備できないか伺う。</p> <p>② 令和6年12月議会で「手ぶら登園」については、1年間の調査を行い令和8年度より実施するか判断するとの答弁であったが、しらゆり保育園ではオムツでの実証を行い、保護者からの継続の要望があり令和7年度中は実施をするとのことである。また令和8年度以降も継続の要望があるが、認定こども園すまいるでの調査はどうだったのか伺う。</p> <p>③ オムツと同じく、毎週のお布団の準備が大変という声があり「お昼寝用コット」についても導入を検討できないか伺う。</p> <p>④ 令和8年度から始まる「こども誰でも通園制度」について、実施にあたり保育士の負担や在園児への対応に支障が出ないのか課題について伺う。</p>			
2. 農業経営について			
<p>近年の大雨や高温、大型台風といった異常気象に備えるために「収入保険」及びさとうきび共済への加入推進について</p> <p>① 「収入保険」への加入者数は少ないと思われるが、加入推進及び周知はどのように行っているか伺う。</p> <p>② 「収入保険」への加入要件に「青色申告」があるが、青色申告の申し込みはどのように行うのか伺う。</p> <p>③ 農家の高齢化が進む中、JA あまみ知名事業本部青色申告会では現在、JA の職員2人で毎年2月頃に農家の決算書・申告書の事前準備を支援されているが、役場からも支援ができないか伺う。</p> <p>④ 近年さとうきびの共済加入者数が減少しているが、その原因について伺う。</p>			

3. 畑地帯総合整備事業、知名・屋子母地区について

- ① 令和10年度運用に向けて工事（JA出荷場近辺）が始まりましたが、農繁期中の工事に伴い、スケジュール及び町民への周知はどのように行っているのか伺う。
- ② 「議員と語る会」で町民から知名・屋子母地区より散水機具等の受益者負担分については、町で負担軽減に向け検討すると聞いたが、その後どのようなようになったのか伺う。

メモ

通告順	議席 10 番	西 文男	令和7年12月 日
2			時 分 ~ 時 分
1. 農業振興について			
<p>① 町の主要作物であるサトウキビの苗の確保について、高齢化等に伴いサトウキビ苗の購入を希望する農家が増加していると思うが、現在、苗の供給はどのような形態で行われているか伺う。</p> <p>② 沖永良部農業開発組合のサトウキビ二芽苗の購入を多くの農家が希望しているので、販売の再開ができないか伺う。</p> <p>③ 沖永良部農業開発組合が運営する大山ほ場の総面積は何 ha か、うち、サトウキビ苗として現在利用できる可能性のある面積がいくらあるか伺う。</p> <p>④ 沖永良部農業開発組合の経営は4部門（集中脱葉事業、受委託事業、種苗供給事業、堆肥センター）で行われているが、過去5年間の各部門の業績はどのように推移しているか伺う。</p>			
2. 防風林の管理について			
<p>① 町内には何か所に防風林植栽地域があるか、また管理体制はどうなっているか伺う。</p> <p>② 正名地区内の農道第2知名西部2-8号線に防風林として植栽された高木のモクマオ近くのは場で、サトウキビ等の農産物の生育が悪い場所があるが、その原因を究明し、対策を講じるか伺う。</p>			
3. デマンドバス運行実証実験について			
<p>令和7年10月15日から沖永良部島全域でのデマンドバスの実証実験が行われているが、現在までの町民の意見等はどうなっているか伺う。</p>			

通告順	議席 6 番	高風 勝一郎	令和 7 年 12 月 日
3			時 分 ~ 時 分
1. 猫の不妊・去勢手術助成事業について			
<p>今年 6 月議会一般質問において、来年度実施に向けて協議したいとの答弁をいただきました。</p> <p>① 和泊町は不妊 8,000 円、去勢 5,000 円の助成を行っている。本町としての助成額の設定方法、またはその考えについて伺う。</p> <p>② 本町として助成申請できる対象者や対象行為について、どのような適用基準を想定しているのか伺う。(例えば「保護者が本町民である」や「保護場所が本町地内である」など)</p> <p>③ 捕獲器は何台導入予定にしているか伺う。</p> <p>④ 助成事業の周知方法について伺う。</p> <p>⑤ 猫の不妊化の必要性への理解や適性飼育の普及が重要だと考えるが、その情報をどのように周知していくのかについて伺う。</p>			
2. 再犯防止推進計画の策定について			
<p>① 再犯防止推進法において、同法の施策を実施する責務が国だけでなく地方公共団体にもあることが明記され、都道府県及び市町村に対し再犯防止推進計画を策定する努力義務が課されている。本町としてこの計画をどのように位置づけ、策定に向けてどのような考えをお持ちか伺う。</p> <p>② 第 3 期知名町地域福祉計画 (R4 ~ 8 年度) を策定しているが、再犯防止推進計画を地域福祉計画に包含するのではなく、単独の計画として策定する考えがあるか伺う。</p>			

3. 犯罪被害者等支援条例及び同計画の策定について

犯罪被害者等基本法の基本理念に「途切れのない支援」とともに、地方公共団体に対し、相談・情報提供、保健医療・福祉サービスの提供、雇用・住居の確保、国民の理解の促進など、広範な施策を地域の実情に応じ自ら策定・実施する責務を課している。また国の「犯罪被害者等基本計画」では、内閣府において被害者からの相談や問い合わせに対応する「総合的な対応窓口」を設置するよう地方公共団体に要請している。

- ① 支援の根拠となる犯罪被害者等支援条例を制定する考えがあるか伺う。
- ② 犯罪被害者等支援計画を策定する考えがあるか伺う。
- ③ イラブ・ユンヌ被害者支援ネットワーク（会長・知名町教育長）という組織があるが、今後、支援条例や計画を検討する際、この組織との連携・協働をどのように位置づけるか伺う。
- ④ 第2次知名町男女共同参画基本計画（R6～10年度）では目標4として「人権を侵害するあらゆる暴力の根絶」を掲げ、現状把握と課題整理及び評価指標を示している。当該目標に関する現状と取り組みの進捗状況について伺う。

メモ

通告順	議席 8 番	窪田 仁	令和 7 年 12 月 日
4			時 分 ~ 時 分
1. 農業の振興について			
<p>① 本町の令和 6 年度の農畜産物の販売高が 52 億円を超えました。この要因について伺います。</p> <p>② 農畜産業の更なる発展に向け、今後の展望及び本町としての取組について伺います。</p> <p>③ 重要病害虫でジャガイモシストセンチュウの影響により、既存品種の種苗供給が不安定化することが懸念されています。安定した種苗供給と、安心して農業経営ができる体制について伺います。</p> <p>④ 夏植えサトウキビとの間作品目として、ジャガイモ栽培が有効と考えます。本町として、サトウキビとジャガイモの間作を奨励する制度化は可能か伺います。</p> <p>⑤ サトウキビ生産量の増加を受け、現在の圧搾処理能力について（日量 900 t）を 1200 t へ増強することが可能か伺います。</p>			
2. 芭蕉布の伝統文化の継承・振興について			
<p>① 2025 年第 46 回南海文化賞（郷土・民俗部門）を芭蕉布の長谷川千代子氏が受賞されました。長年にわたる技術継承および地域文化振興への貢献が評価されたものですが、本町としての表彰の予定はあるか。</p> <p>② 芭蕉布に対する重要無形文化財の保持者として長谷川氏がふさわしいと考える。先の議会で指定に向けた調査の必要性について答弁をもらったが進捗状況はどうなっているか。</p>			
3. 文化財の保存・活用について			
<p>① 文化財の保存と活用を取りまとめた「文化財保存活用地域計画書」の策定状況について伺います。</p> <p>② 両町で共同して進めている古墓群の国指定に向けた進捗状況を伺います。</p>			

- ③ 古墳の石垣崩落が長年にわたり続いています。3D測量等を活用した恒久的保全の可能性を含め、文化財の保存・活用計画について伺います。

4. ふるさと納税の推進について

- ① ふるさと納税および企業版ふるさと納税の実績・進捗状況について伺います。
- ② ガバメントクラウドファンディング（GCF）の取り組み状況について伺います。

5. 水土里（みどり）サークル事業について

- ① 水土里サークル事業の事業範囲拡大申請は、最短で何日前までに申請すればよいか伺います。
- ② 今年2月に竿津・屋子母地区より事業範囲拡大の要請が出されていますが、その完了・対応見通しについて伺います。

メモ

通告順	議席 9 番	根釜 昭一郎	令和 7 年 12 月 日
5			時 分 ~ 時 分
1. 本町の LED 化の取り組みについて			
<p>経済産業省の省エネ規制の一環で、2027 年までに一般照明用蛍光灯の製造が中止され、それに伴い、順次販売も終了します。そこで、それに代わる LED 化に向けた本町の取り組み状況と今後の対応について質問します。</p>			
① 本町公共施設における施設ごとの進捗状況を伺います。			
② 残っている施設の LED 化計画について伺います。			
③ 学校施設の LED 化の進捗状況と今後の整備計画について伺います。			
④ 各集落の公民館の LED 化について、町として取り組むのか伺います。			
⑤ 蛍光灯製造中止については、町民へ広く周知すべきだと考えますが、対応について伺います。			
⑥ 町民の LED 機器購入、工事に伴う助成を町単独事業で行えないか伺います。			

通告順	議席 7 番	福川 勝久	令和7年12月 日
6			時 分 ~ 時 分
1. ゼロカーボンアイランドおきのえらぶ事業全体の進捗状況について			
<p>知名町が取り組んでいるゼロカーボン関連の主要事業、具体的には太陽光発電、LED 照明化、EV 導入などの進捗率を、令和7年度計画に対して全体の数字として示していただきたい。</p>			
2. えらぶゆり電力 PPA 事業の進捗について			
<p>特別委員会で説明を受けていますが、えらぶゆり電力 PPA 事業において、南国殖産株式会社への支払いが滞っており、太陽光パネル工事が進んでいない現状である。この問題についてお伺いします。</p> <p>① 町としての事実把握と原因について。</p> <p>② 工事停止が今後の補助金や全体計画に与える影響。</p> <p>③ 追加費用や損失が生じた場合、町財政への影響をどう見ているのか。</p> <p>④ 支払い問題を解決し、工事を再開させるための今後の対応方針はあるのか。</p> <p>⑤ 今後も同様の事態を避けるために、契約管理をどのように改善するのかお伺いします。</p>			

通告順	議席 2 番	長山 美香	令和7年12月 日
7			時 分 ~ 時 分
1. おきえらぶフローラル株式会社について			
<p>① おきえらぶフローラル株式会社について、厳しい経営状態が続いていると町民は感じており、実情が見えず不安を抱えています。おきえらぶフローラルホテルや昇竜洞は知名町の顔であり、ホテルやフローラル館は町民にとって食事や催事を行う大切な場所です。会社の概要、経営状況、町として把握している課題について説明を求めます。</p> <p>② 経営改善に向けた会社の計画や取り組み、町として支援を検討している施策、その見通しについて伺います。</p>			
2. 一般社団法人ツギノバについて			
<p>① 6月定例会にて、一般社団法人ツギノバの経営難が令和7年度の町施策に与える影響について伺いました。令和6年度決算が9月に認定されたことを踏まえ、同年度にツギノバが関わった事業の成果と課題について伺います。</p> <p>② 令和7年度にツギノバに委託予定だった事業について、他団体への委託の可否や代替策を含めた現在の状況について伺います。</p>			

通 告 順	議 席 1 1 番	福 井 源 乃 介	令 和 7 年 12 月 日
8			時 分 ~ 時 分
<h3>1. 町長交際費等の公表について</h3>			
<p>郡島内でも行政の透明性を高め町民の理解と信頼を得るために、公務で支出する交際費について、使用基準の明確化とホームページで公表する動きがあります。本町においても、町長の交際費について公表すべきではありませんか。また、町長の最終学歴である高知大学卒業証明書も併せて公表すべきではありませんか。</p>			
<h3>2. 県有防風林の再整備について</h3>			
<p>沖永良部農業の課題は「水対策」と「風対策」です。「水対策」については国営地下ダム事業の完了・畑かん整備により解決されました。「風対策」については、防風ネットの普及拡大や平張りハウス、鉄骨ハウス等の導入により取り組まれています。今後は、県が造成したフローラルパークから新城沖泊までの防風林帯の再整備を行う必要があります。県に要請して再整備を行ってもらい、将来的には町に無償譲渡して町が管理するべきと考えています。県有防風林帯の再整備について、協議を始めるべきではありませんか。</p>			
<h3>3. 上城浄水場への太陽光パネル設置について</h3>			
<p>水道水の硬度低減化に伴い、令和9年度以降水道料金の改定が予定されています。物価高騰の中、公共料金の大幅な値上げは町民の家計を直撃します。そこで、令和8年度公共施設やフローラルホテルへの太陽光パネル設置計画を見直し、最大限上城浄水場に設置を行い、水道料金の上げ幅の圧縮に努めるべきではありませんか。(建屋もパネル設置を見込んだ設計にすべきである)</p>			
<h3>4. 町民総兼業農家構想について</h3>			
<p>町民総兼業農家構想は、家庭菜園の普及拡大や非農家への農地(町民菜園)の貸し出しを行い、島の自給率の向上や地産地消、自給自足、特産品の開発と6次産業化の推進等を図る私の政策です。農業の町でありながら極めて低い自給率を改善し、多品種栽培を行いあらゆる野菜や米や小麦、大豆や果物を栽培し、エネルギーの自足と食の自足を実現させ、食糧安全保障と島内経済の循環を図るべきではありませんか。</p>			